

令和5年度

第1回 地域家庭教育推進南会津ブロック会議

日時: 令和5年6月8日(木) 13:30~

会場: 南会津町 御蔵入交流館 多目的ホール

本年度第1回の協議は、県や域内、各町村の家庭教育事業について説明を行った後、『南会津域内における今後の家庭教育支援について』と題してグループ協議を行いました。南会津域内において、どんな家庭教育支援が必要なのか、活発な意見が交わされました。



地域の特性や家庭の状況に応じて、必要な家庭教育支援は変わります。強み「K (Keep)」と、課題「P (problem)」を明確にし、具体的なアイデア「T (Try)」を考えるKPT法を使って協議を行ったことで、域内の現状をイメージしながら、必要な手立てについて考えることができました。



【今回使用のワークシート「南会津域内における今後の家庭教育支援について」】※結果は別紙にて

K (Keep) 継続	T (Try) 挑戦	実施が 容易
	効果の対象が 狭い	広い
P (Problem) 課題		困難



座標軸によって、実施しやすさやアプローチする対象の範囲についても分類してみました。すぐにできそうなこと、じっくり計画を立てて取り組む必要があること、立場によって取組やすいことなどが明確になったのではないかと思います。



今回の協議では、様々な立場の方からたくさんのアイデアを出していただきました。立場によって視点が違い、一言で家庭教育支援といっても多様なアプローチの仕方があると感じました。協議会の中で「1つでもいいから今年度取り組んでみよう」というご意見がありました。個に寄り添い届けるアウトリーチ型支援から、町村連携によって対象範囲を広げた支援まで、支援団体、応援企業、町村行政、教育事務所によって得意な分野、役割があると思います。それぞれの立場でできそうなことを検討して、取り組んでいくことが大切ですね。